



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	みんなで話そう、食の安全・安心：BSE 全頭検査をどうするか
Issue Date	2011-10-15
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/49877
Type	lecture
File Information	T2-1.pdf, 討論前アンケート



北海道大学 BSE 問題に関する討論型世論調査実行委員会
討論前アンケート調査(2011 年 11 月 5 日)

みんなで話そう、食の安全・安心 ～BSE 全頭検査をどうするか～

このたびはアンケート調査にご協力いただき、ありがとうございます。

ご回答いただいた内容は統計的に処理し、数値としてまとめますので、あなた様の回答内容やお名前が外部に公表されることは一切ありません。

以前に郵送でご協力いただいた内容とほぼ同じですが、現時点でのあなた様のお考えを再度ご回答ください。

＜回答記入に関して＞

1. このページも含め、計 7 ページあります。落丁がある場合はお知らせください。
2. 氏名・住所・電話番号などを記入する必要はありません。
3. ご自身のお考えでご回答ください。ほかの人に聞いたり、調べ物をしたりして答える必要はありません。
4. 一度答えた質問に戻ることなく、順番通りにご回答ください。

次のページから質問が始まります

Q1～Q4は
省略しました。

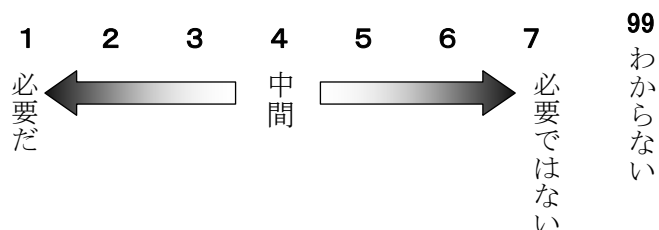
Q5から
ご回答ください。

Q5. 牛肉に関する以下の事柄で、特に関心のあるものはどれですか。以下から選んでください(3つ以内)。

1. 牛の産地
2. 牛の品種
3. 牛の血統
4. 牛のエサ
5. 牛に投入される抗生物質やホルモン剤
6. BSE (いわゆる狂牛病)
7. 有機飼育
8. ^オ157などの病原性大腸菌
9. と畜(食肉用の家畜を殺すこと)する場所の衛生状態
10. 放射能
11. その他(記入欄→) _____
12. 特に関心はない

※以下では、BSE についての政策に関してお尋ねします。

Q6. 食肉用にと畜される全ての牛を対象とする「BSE 全頭検査」は必要だと思いますか。必要があると強く思う場合は1、必要がないと強く思う場合は7、ちょうど中間は4として、お考えに近いと思う番号にマルをつけてください。



Q7. 国内における BSE 検査の対象が次のようになったとしたら、国産の牛肉に対するあなたの安心感はどうなりますか。それぞれ1つだけ選んでください。

・BSE 検査対象が、政府の方針通り「21か月齢以上のと畜されるすべての牛」となったとしたら、安心感は

1. 大きく増加する
2. やや増加する
3. 変化しない
4. やや減少する
5. 大きく減少する
99. なんともいえない

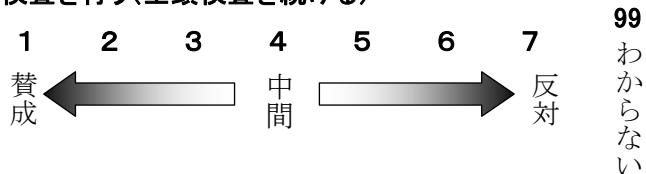
次のページのQ7の続きに進んでください

・BSE 検査対象が、EU 主要国と同様に「48か月齢以上のと畜されるすべての牛」となったとしたら、安心感は

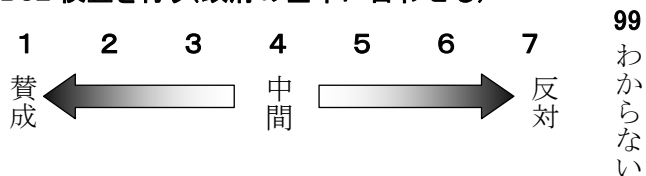
1. 大きく増加する
2. やや増加する
3. 変化しない
4. やや減少する
5. 大きく減少する
99. なんともいえない

Q8. 現在の状況のなかで、北海道での BSE 検査はどのようにあるべきだと思いますか。次の3つの考え方それぞれについて、お考えに近いと思う番号にマルをつけてください。

・北海道では、月齢に関わらずすべての牛を対象に BSE 検査を行う(全頭検査を続ける)



・北海道では、21か月齢以上のすべての牛を対象に BSE 検査を行う(政府の基準に合わせる)

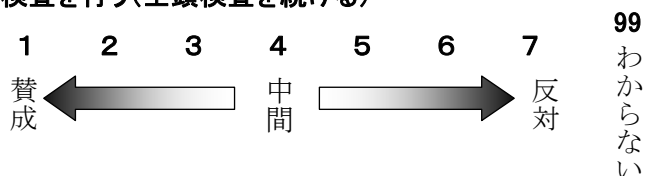


・北海道では、48か月齢以上のすべての牛を対象に BSE 検査を行う(EU 主要国の基準に合わせる)

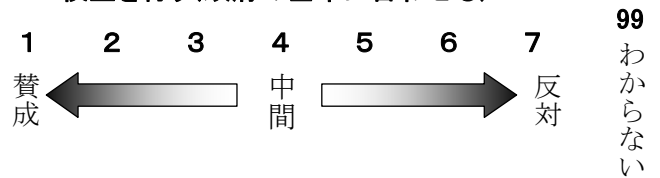


Q9. 将来、日本が BSE 清浄国(国際機関によって「BSE の危険性が無視できる」と認められた国)になった場合、北海道での BSE 検査はどうすべきだと思いますか。次の3つの考え方それぞれについて、お考えに近いと思う番号にマルをつけてください。

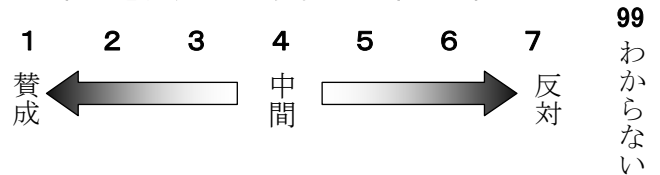
・北海道では、月齢に関わらずすべての牛を対象に BSE 検査を行う(全頭検査を続ける)



・北海道では、21か月齢以上のすべての牛を対象に BSE 検査を行う(政府の基準に合わせる)

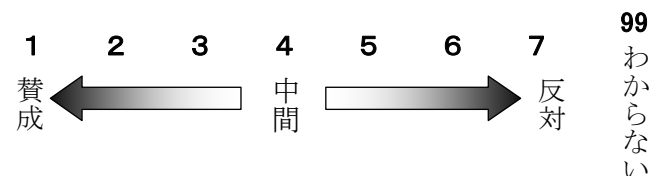


・北海道では、48か月齢以上のすべての牛を対象に BSE 検査を行う(EU 主要国の基準に合わせる)

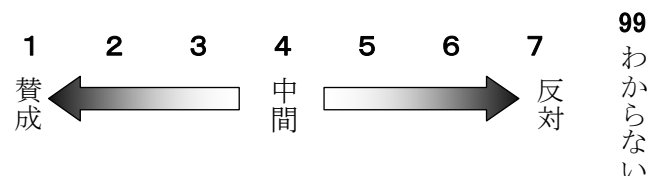


Q10. BSE 対策に関する次のような意見についてどう思いますか。次の3つの考え方それぞれについて、お考えに近いと思う番号にマルをつけてください。

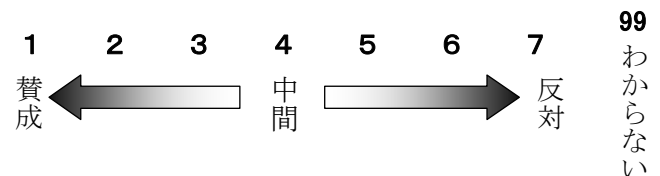
「BSE 対策としては、肉骨粉を牛に与えない、特定危険部位を取り除くという2つの対策で十分である」



「BSE 全頭検査の必要性を判断する際には、『ある月齢よりも若い牛については BSE を検出できない可能性が高い』ということを考慮すべきである」



「すべての月齢の牛を対象とした BSE 全頭検査は、効果の割に費用がかかりすぎる」



次のページのQ11に進んでください

Q11. 北海道での BSE 全頭検査に関する次のような意見についてどう思いますか。次の3つの考え方それぞれについて、お考えに近いと思う番号にマルをつけてください。

「北海道での BSE 全頭検査は北海道のブランドイメージに役立つ」

1	2	3	4	5	6	7	99	
賛成	←			中間	→			反対
							わからない	

右上へ
つづく

「北海道での BSE 全頭検査は道民の食べる北海道産牛肉の安全性の確保に役立つ」

1	2	3	4	5	6	7	99	
賛成	←			中間	→			反対
							わからない	

「他の都府県がBSE全頭検査を続けるかぎり北海道での全頭検査を続けるべきだ」

1	2	3	4	5	6	7	99	
賛成	←			中間	→			反対
							わからない	

※以下の質問は「選択実験」という、統計分析をおこなうための質問であり、経済学、マーケティング、交通工学などの分野で広く用いられている方法です。同じような質問が繰り返され、奇妙に思われるかもしれませんが、それぞれについてご判断をお願いします。

Q12. スーパーマーケットに「切り落とし」の牛肉を買いに行ったら、以下の3種類が売られていたとします。見た目はどれも変わらないとしたら、この中でどれを買いますか。それぞれ1つだけ選んでください。ただし国産牛肉については、放射性セシウムの検査は適切に行われているものとします。

(1)

1つにマル →

	1.	2.	3.	4.	99.
産地	日本(国産)	アメリカ産	オーストラリア産	どれも 買わない	わから ない
100g あたりの価格	258 円	118 円	118 円		

(2) それでは、次の場合はどれを買いますか。

1つにマル →

	1.	2.	3.	4.	99.
産地	日本(国産)	アメリカ産	オーストラリア産	どれも 買わない	わから ない
100g あたりの価格	178 円	148 円	118 円		

(3) それでは、次の場合はどれを買いますか。

1つにマル →

	1.	2.	3.	4.	99.
産地	日本(国産)	アメリカ産	オーストラリア産	どれも 買わない	わから ない
100g あたりの価格	258 円	118 円	148 円		

次のページのQ12の続きに進んでください

(4) それでは、次の場合はどれを買いますか。

1つにマル →

	1.	2.	3.	4.	99.
産地	日本(国産)	アメリカ産	オーストラリア産	どれも	わから
100g あたりの価格	218 円	88 円	178 円	買わない	ない

(5) それでは、次の場合はどれを買いますか。

1つにマル →

	1.	2.	3.	4.	99.
産地	日本(国産)	アメリカ産	オーストラリア産	どれも	わから
100g あたりの価格	218 円	178 円	148 円	買わない	ない

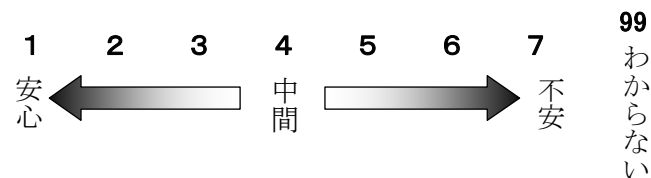
(6) それでは、次の場合はどれを買いますか。

1つにマル →

	1.	2.	3.	4.	99.
産地	日本(国産)	アメリカ産	オーストラリア産	どれも	わから
100g あたりの価格	298 円	88 円	88 円	買わない	ない

Q13. 現状において、各国で生産された牛肉の BSE 感染に関してどのように感じていますか。お考えに近いと思う番号にマルをつけてください。

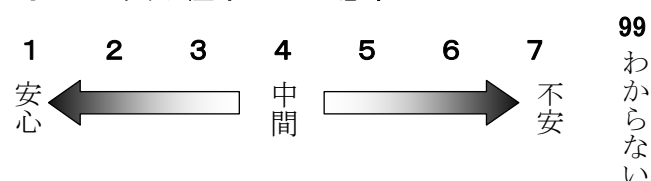
・国産牛の BSE 感染



・アメリカ産牛の BSE 感染



・オーストラリア産牛の BSE 感染



Q14. 以下にあげる「BSE を原因とする人の病気を防ぐための対策」は、日本国内でちゃんと実施されていると思いますか。それぞれ1つだけ選んでください。

・対策: 肉骨粉を牛に与えない

- 1. ちゃんと実施されている
- 2. ある程度実施されている
- 3. あまり実施されていない
- 4. 実施されていない
- 99. わからない

・対策: 特定危険部位を取り除く

- 1. ちゃんと実施されている
- 2. ある程度実施されている
- 3. あまり実施されていない
- 4. 実施されていない
- 99. わからない

・対策: BSE 全頭検査

- 1. ちゃんと実施されている
- 2. ある程度実施されている
- 3. あまり実施されていない
- 4. 実施されていない
- 99. わからない

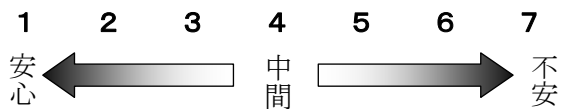
次のページのQ15に進んでください

Q15. 国産食品と輸入食品の安全性について、どのように感じていますか。

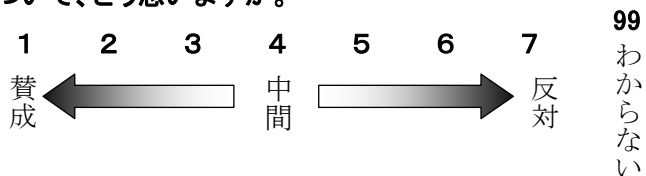
・国産食品について



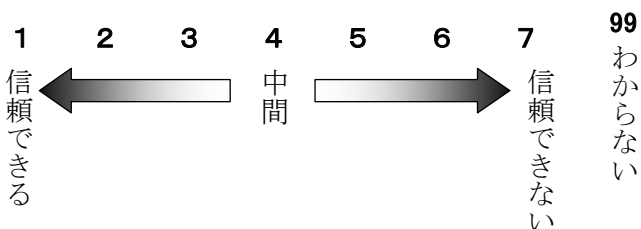
・輸入食品について



Q16. BSE に限らず、食品全般についてお尋ねします。「食品は 100%安全でなければならない」という考え方について、どう思いますか。

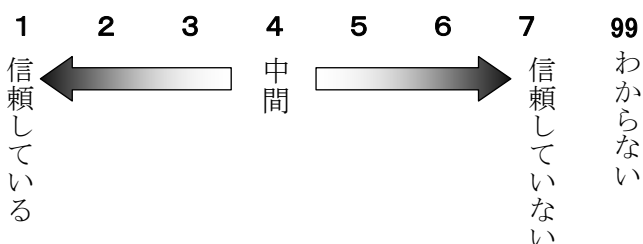


Q17. 食の安全に関する専門家の意見は、信頼できると思いますか。

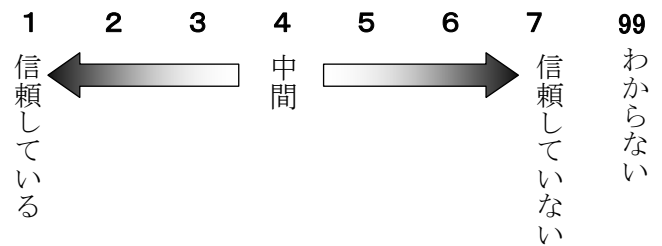


Q18. 食の安全・安心に関する国(政府)や北海道(道庁)の取り組みについて、どの程度信頼していますか。お考えに近いと思う番号にマルをつけてください。

・国の取り組み



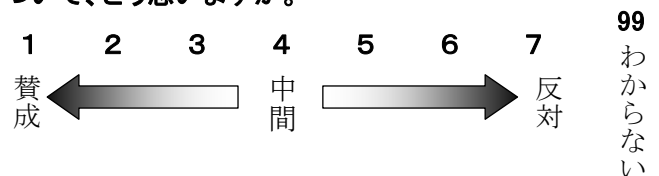
・北海道の取り組み



Q19. BSE や食品に限らず、もっと一般的にお尋ねします。国や自治体の政策を決めるときに、専門家の意見と市民の感覚が異なる場合、どちらを優先すべきだと思いますか。1つだけ選んでください。

1. 専門家
2. 市民
3. おなじくらい
99. わからない

Q20. 「素人である一般市民は、科学技術などの専門的な問題については口出しすべきではない」という考え方について、どう思いますか。



※以下の Q21から Q27の質問はクイズ形式になっています。正解を調べずにお答えください。

Q21. 日本において、食品のリスク評価を主に担当している国の機関は、次のどれだと思いますか。1つだけ選んでください。

1. 農林水産省
2. 薬事・食品衛生審議会
3. 食品安全委員会
4. 消費者庁
99. わからない

次のページのQ22に進んでください

Q22. 日本で BSE 感染牛が初めて見つかったのはいつだと思いますか。

1. 3 年前
2. 5 年前
3. 10 年前
4. 20 年前
5. 30 年以上前
99. わからない

Q23. 日本人で、BSE が原因と思われる vCJD (変異型クロイツフェルト・ヤコブ病) への感染が確認された人は、何人いると思いますか。

1. 0 人 (いない)
2. 1 ~ 10 人
3. 11 ~ 99 人
4. 100 人以上
99. わからない

Q24. 以下の国の中で、BSE 感染が確認された牛が最も多いのは、どの国だと思いますか。

1. 日本
2. アメリカ
3. オーストラリア
99. わからない

Q25. 牛の特定危険部位にあてはまらないのは、次のどれだと思いますか。あてはまらないものをすべて選んでください。

- | | | | |
|---------------------------|------|----------------------------|-----------------------------------|
| 1. 脳 | 2. 胃 | 3. 脊髄 <small>せきずい</small> | 4. 眼 |
| 5. 扁桃 <small>へんとう</small> | 6. 舌 | 7. 脊柱 <small>せきちゅう</small> | 8. 回腸遠位部 <small>かいちょうえんいぶ</small> |
| 99. わからない | | | |

Q26. これまでに日本で BSE の感染が確認された牛のほとんどは、次のどの月齢の牛だと思いますか。

1. 10 か月齢まで
2. 11 ~ 20 か月齢
3. 21 ~ 30 か月齢
4. 31 ~ 40 か月齢
5. 41 か月齢以上
99. わからない

Q27. 牛が BSE に感染しないようにするために、日本ではどのような対策がとられていると思いますか。1つだけ選んでください。

1. ワクチン接種による予防
2. 感染牛に対する治療
3. 肉骨粉の使用禁止
4. BSE 全頭検査
5. 特定危険部位の除去
6. BSE 発生国からの牛肉輸入制限
7. 対策は発見されていない
99. わからない

※最後に、ご回答くださった方についてお尋ねします。

Q28. あなたの性別は。

1. 男性
2. 女性

Q29. あなたの年代は。

1. 20 代
2. 30 代
3. 40 代
4. 50 代
5. 60 代
6. 70 代
7. 80 歳以上

質問は以上です。

最後までご回答いただき、どうもありがとうございました。

このあとの討論もよろしくお願いします。